

平成 22 年 7 月 20 日
都 市 計 画 課

都市計画マスタープラン「地域別構想」(素案)について

1 川口地域の概要

- 5 ・長岡市南部に位置する川口地域は、中央部を大河「信濃川」と清流「魚野川」が南北を縦断し、2つの大きな河川によって形成された河岸段丘を中心に、山なみが地域を取り囲んでいます。河川の合流点周辺には、市街地が広がりを見せ、山あいの傾斜地や幹線道路沿いにも、集落が点在しています。
- 10 ・本地域は、平成 16 年 10 月に発生した「新潟県中越地震」において、震度 7 を観測した震央の地として、約 8 割の家屋が全半壊し、道路閉鎖によって山あいの集落が孤立するなど、地域全体にわたり甚大な被害を受けました。その後、国や新潟県をはじめ、全国の自治体のさまざまな協力・支援により、平成 19 年 10 月には復旧を成し遂げました。
- 15 ・道路・交通の面では、関越自動車道、国道 17 号が東西に横断し、南北には県道小千谷川口大和線、山ノ相川内ヶ巻停車場線が縦断するなど、住民の日常生活や産業振興を支える重要な路線となっています。また、地域の西部には、サービスエリアを併設した関越自動車道 越後川口 IC が設置されています。加えて、JR 上越線、飯山線の発着点となっている越後川口駅があります。
- 20 ・地域資源は、米、山菜、キノコ、アユ・錦鯉などの特産品をはじめ、中山地区にはスポーツ施設、温泉・宿泊施設などがまとまって整備された「川口運動公園」、西川口地区には日本古来の伝統河川漁法である「川口やな場」があります。



30 観光客でにぎわう川口やな場

○地域に関するデータ

- ・ 総面積 50.0 km² (5.6%)
- ・ 総人口 5,233 人 (1.8%)
- ・ 世帯数 1,437 世帯 (1.5%)
- ・ 年少人口比率 13.1%
- ・ 高齢人口比率 27.8%

(出典) 平成 17 年国勢調査
※カッコ内は市全体に占める割合

2 現状と課題

○地域資源を活かしたまちづくりの課題

- 35 ・川口地域には、大河「信濃川」と清流「魚野川」の合流点や河岸段丘、山あいの棚田・棚池などの自然環境、優良な農地から生産される米や山菜などの農産物など、さまざまな地域資源があります。今後も、これらの地域資源を活かして、他地域との広域的な交流・

連携の強化を図るとともに、さらなる創造的な復興につなげていく必要があります。

- ・「信濃川」と「魚野川」が合流する地点の水辺空間、河岸段丘や山あいの棚田・棚池などは、地域固有の自然景観を形成しています。今後も、市民生活にうるおいと安らぎを与える豊かな自然環境を適切に維持・保全する必要があります。

5 ○地域の活性化に向けた土地利用の課題

- ・川口地域は、年々人口が減少してきており、とりわけ若年層の人口流出が顕著です。地域における雇用や交流の場を創出し、定住人口の確保につなげるため、都市整備の面からも地域産業の活性化を支援する必要があります。
- ・今後の高齢社会を見据え、身近な商業・生活サービス機能を維持・確保していく必要があります。

○道路・交通ネットワークの課題

- ・県道小千谷川口大和線などの幹線道路や幅員の狭い生活道路では、道路の拡幅・改良はもとより、交通安全施設の設置や除雪体制の維持が必要です。
- ・川口地域には、JR 上越線と飯山線、小千谷市と魚沼市を結ぶ路線バスのほか、地域内を循環するコミュニティバスが運行されています。これらの公共交通は、住民の通勤・通学はもとより、日常生活を支える重要な移動手段であることから、今後も維持・充実を図る必要があります。

○安全・安心なまちづくりの課題

- ・川口地域は、県内有数の豪雪地帯であり、冬期間においても、安全に安心して暮らせる地域づくりが必要です。

3 地域づくりの方針

<地域の将来像>

今後、地域委員会や策定委員会の議論を踏まえ、記載する予定。

○地域振興に向けた基盤整備

- ・道の駅「越後川口あぐりの里」、「川口運動公園」、「川口やな場」など、既存の観光施設等については、さらなる情報発信と活用を図ります。また、他地域との広域的な連携による観光振興を促進するため、利用環境を高める案内標識やトイレの改修などを進めます。
- ・都市と農村の交流をさらに深めていくため、特色ある地域資源を活かした農山村滞在型・体験型交流事業(グリーン・ツーリズム)を促進し、さらに小学校跡地やトレッキングロードなどを活用した体験の場づくりを進め、この活動を通じて定住人口の確保につなげていきます。
- ・震災から生まれた「絆(伝える、広げる、育てる、紡ぐ)」を次世代につなげていくため、「新潟県中越地震」の記録や、中山間地の生活スタイルを紹介する震災メモリアル「(仮称)川口 絆館」の整備を進めます。あわせて、地元が主体となった地域づくりの取組みを支援

します。

○地域産業の活性化と土地利用の誘導

- ・雇用の場を創出し、定住人口の確保につなげていくため、農村工業導入地区における未分譲地の解消を図ります。
- 5 ・市街地や農村集落では、日常生活において身近な範囲内に買い物の場を確保し、高齢社会に対応した地域づくりを土地利用の面からも支援します。

○幹線道路及び生活道路の整備

- ・川口地域と周辺地域の連携強化を図るため、国道 17 号、県道小千谷川口大和線、県道川口塩殿線などの国・県道については、さらなる道路機能の強化に向けて、道路拡幅等を促進します。
- 10 ・通学路や身近な生活道路では、道路の維持・補修や歩道の整備、道路照明灯などの交通安全施設の設置を推進します。

○公共交通ネットワークの維持・充実

- ・JR 越後川口駅においては、利用者の利便性を確保し、鉄道のさらなる利用につなげていくため、パークアンドライド用駐車場や自転車駐車場などの整備を検討します。
- 15 ・川口地域と小千谷方面を結ぶバス路線は、その運行を維持するとともに、運行時間の見直しなど、バス交通の利用環境の向上を図ります。
- ・地域独自の取組みとして運行しているコミュニティバスについては、効率的かつ継続的なバス運行を図るため、利用者ニーズに即した運行ルート、地域が主体となった運営などについて検討を進めます。
- 20

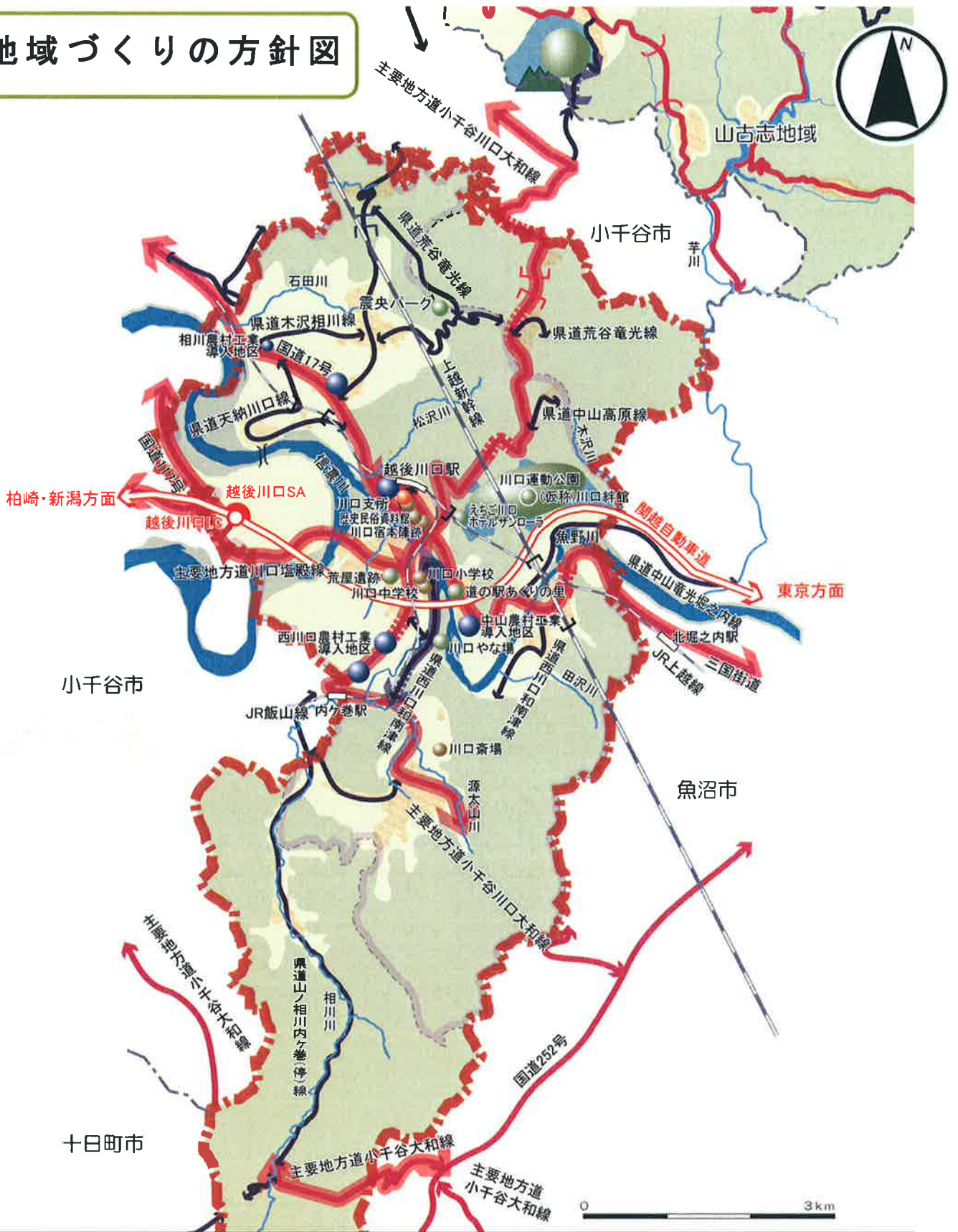
○安全・安心な都市基盤の整備

- ・雪に強い地域づくりに向けて、雪国の特性に配慮した道路整備、流雪溝や消雪施設の更新、除雪体制の維持に取組むとともに、克雪住宅の普及を促進します。
- ・災害時には防災拠点として、また、平常時には、地元住民の憩いの場となる身近な公園広場の整備を検討します。
- 25
- ・大平沢川などの中小河川や用悪水路の整備を進めるとともに、市街地や集落内の低地部などにおいては、道路側溝等の整備を推進します。

○自然環境の保全・活用

- ・越後三山の緑豊かな山なみ、傾斜地を活かした棚田・棚池、大河「信濃川」と清流「魚野川」の河川空間は、地域の誇りとなる貴重な自然資源です。また、山林や棚田は、治山・治水などの面で防災機能を有していることから、地域住民との協働により、荒廃した山林や耕作放棄地の解消に向けて取組むとともに、今後とも、このような自然環境を適切に維持・保全します。
- 30
- ・地域一帯に広がる里山や棚田をはじめ、大河「信濃川」と清流「魚野川」が合流する水辺空間、河岸段丘などは、地域固有の自然景観を形成しています。今後とも、来訪者を魅了する自然景観を適切に維持・保全するとともに、河川空間を活かした広場や景観スポット（視点場）の整備を検討します。
- 35

地域づくりの方針図



土地利用		凡例	
近隣型商業集積地	うるおい住宅地	農村集落地	高速道路
工業・業務集積地	農地	山林・河川敷	主要幹線道路
レクリエーション交流地	都市計画区域	都市内幹線道路	道路(計画・整備を検討する路線)
公共公益施設	河川	地域界	主要幹線道路
			都市内幹線道路
			新幹線
			鉄道